

研究課題 (テーマ)	医薬品工学科1~3期生のキャリア形成-「くすりのシリコンバレーTOYAMA」との連携		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	主任教授	榊 利之
	医薬品工学科		医薬品工学科全ての教員
研究結果の概要			
<p><b>【研究内容】</b></p> <p>医薬品工学科は、富山県の製薬産業を担う人材の育成を担っており、そのためには1) 県内就職率を50%以上に保つこと。2) 富山県から新薬や新技術を生み出すべく専門性の高い人材を育成するためには大学院の進学率を50%以上に保つことが望まれる。</p> <p>本プログラムでは、これらの目的を達成するために、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」のカリキュラムの活用を考え、プログラムを実践した。</p> <p><b>【研究活動の成果】</b></p> <p>本プログラムの達成目標として、1. 県内就職率50%以上 2. 大学院進学率50%以上を掲げ、学生の「くすりのシリコンバレーTOYAMA」のサマースクールへの参加(医薬品工学科3年1名)や、世界のトップ人材として招聘した研究者のセミナー(述べ17名)や共同研究への積極的な参加を行ってきた。また、授業やゼミ等の機会に県内のくすりのシリコンバレーTOYAMA 参画の製薬関連企業を訪問し、研究開発、製造工程、製造管理・品質管理(GMP)等の見学や、大学での講義をお願いし、製薬企業2社や薬総研を訪問しての見学を実施するとともに、大学での講義を製薬企業1社にお願いすることができた。</p> <p>これらの取り組みの結果、2020.05.08現在、大学院への進学を希望している者は33名中6名から14名(42%)へと1年前の調査の6名から倍以上となった。現在、就職希望者19名中13名(68%)が県内企業への就職を希望しており、この6名が内定を決め、5名が県内企業である。</p> <p>年度末には、本学修士課程卒業生による進路相談と県内製薬会社の企業説明会を予定していたが、コロナ禍の影響により中止を余儀なくされた。</p>			
今後の展開			
<p>大学院への進学を後押しし、新薬や新技術を生み出すべく専門性の高い人材の育成を進める。さらに、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」への参加を今後も積極的に進める予定である。</p>			